

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		夏休み子ども講座実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明	
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	森田由貴恵	
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供		所属班	図書館班	(内線)	1540	
法令根拠					図書館法第3条(図書館奉仕)、合志市立図書館条例第5条				
予算科目	会計	1	10	5	8	事業連番	-	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 11 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		16	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】夏休み中に休館日の図書館を利用して開催する。参加者は持ち寄った課題に対し図書館司書から各々の課題解決のために図書館資料活用方法を学ぶ。図書館司書5名は、一人あたり5・6名程の指導に当たる。 【業務の流れ】合志市立小・中学校に対し参加者募集のチラシ作成及び配布。申込受付・指導案作成・配布参考資料作製。 【主な予算費目】無し									

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 8月18日(月曜日)の図書館休館日に市内の中学生と小学5・6年生を対象として開催した。実施時間帯は10:00~12:00、13:00~15:00、10:00~15:00の3コースに分かれており、参加予定者から調べたい内容を申込とともに受け、事前に資料等を準備するなど指導しやすい体制づくりを図った。参加者23名であった。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度と同じ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市内の小学校5・6年生と中学生	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 回 → ア 開催回数 回 イ 参加募集人数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 対象者が、図書館資料を使って、自分自身で的確な情報を収集し判断する方法を身につけるようにする。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 実際参加した児童生徒数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに参加する機会がある。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % → ア 募集した人数に対する参加者の割合 % イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 % イ スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	35	7	0	0	0	0	
	(A) 事業費計	千円	35	7	0	0	0	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	16	16	16	16	16	16	16	
	(B)人件費計	千円	64	64	64	64	64	64	64	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	99	71	64	64	64	64	64	
活動指標	ア 回数	回	1	1	1	1	1	1	1	
	イ 人	人	30	30	35	30	30	30	30	
対象指標	ア 人	人	9	15	18	23	25	28	30	
	イ %	%	30	50	50	76	83	93	100	
成果指標	ア %	%	45.1	50.8	45.5	47.3	45.8	46	44	
	イ %	%	42.6	46.5	43.3	44.3	43.6	44	44	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
小中学校において、調べ学習が開始されたので、平成13年度の夏休みに図書館資料を使った調べ方の基礎指導を実施した。以後、夏休み期間中の図書館の閉館日の一日のみ実施している。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
夏休みの宿題として調べ学習が出されたときは参加者が多い。対象者である子どもたちの学校行事や地域の行事等に左右される。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
夏休みは、対象者である子どもたちの家庭や地域での予定が多いので連絡を密にし、子どもたちが参加しやすい状況で実施することが重要である。生涯を支える基礎を成す事業であるので是非続けて欲しいという意見がある。

事務事業名	夏休み子ども講座実施事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 情報が溢れる現代の社会情勢において、自分自身で確かな情報を収集し判断する力をつけることは、生涯にわたる生きる力を身につける基礎になる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ その成長期において図書館を利用して調べ学習の基礎を身につけることは、将来の合志市を豊かにすることに繋がる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 市立小中学校との連携を密にとり、学校や地域の行事を把握、開催日を設定し参加者が増加するようにする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 調べ方を指導するのは、図書館の重要な役割の一つである。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似の目的(対象と意図)をもつ事業は、他にない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費は特にかかっていない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 講師が図書館司書であるため、人件費は別途かかっていない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 対象者は、合志市内の小中学校5・6年生と中学生であり、『広報こうし』及び合志市立小中学校へのチラシ配布により周知している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…参加者が増加するために、小中学校との連携を図り、行事等の把握を行い開催日を検討、設定する。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 参加者が増加するために、小中学校との連携を図り、行事等の把握を行い開催日を検討、設定する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○	△	維持	△	△	低下	△	△	△
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	○	△																	
	維持	△	△																	
低下	△	△	△																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	2	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2)貢献度	3	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )